

# 科学的介護情報システム(LIFE)について

令和6(2024)年3月

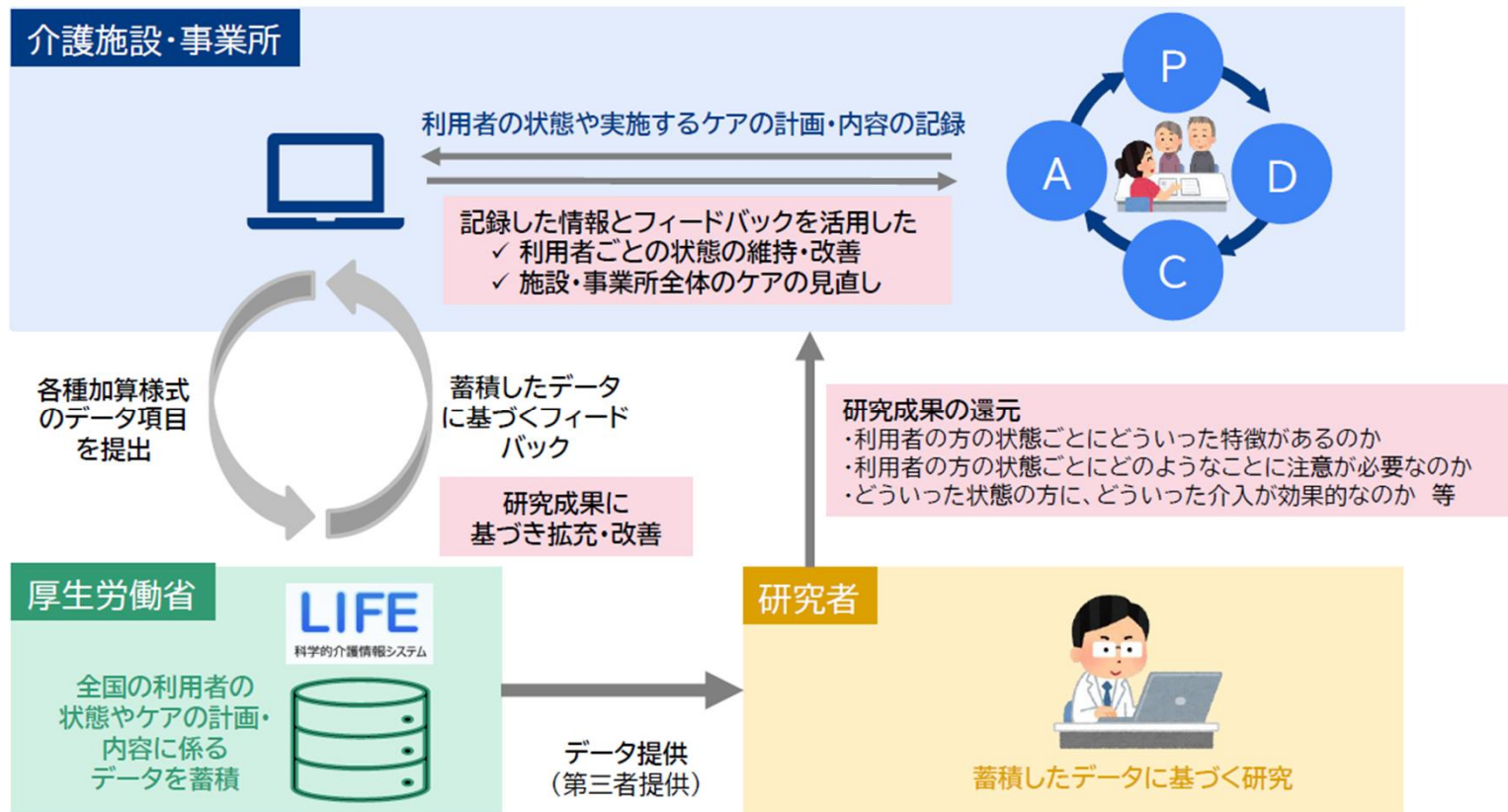
栃木県保健福祉部指導監査課高齢者事業担当

# 目次

1	LIFEとは	P3
2	対象サービス及び適用となる加算	P4、5
3	LIFEによるデータ提出の方法と頻度	P6
4	LIFEに期待されるもの	P7
5	PDCAサイクル	P8～13
6	取組事例	P14
7	参考となる資料	P15

# 1 LIFEとは

- 介護サービス利用者の状態や、介護施設・事業所で行っているケアの計画・内容などを一定の様式で入力すると、インターネットを通じて厚生労働省へ送信され、入力内容が分析されて、当該施設等にフィードバックされる情報システム
- 介護事業所においてPDCAサイクルを回すために活用するためのツール



## 2 対象サービス及び適用となる加算①（施設系）

LIFEの活用等が要件として含まれる加算（施設）

	科学的介護推進体制加算 (Ⅰ)・(Ⅱ)	個別機能訓練加算(Ⅱ)	ADL維持等加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	リハビリテーションマネジメント 計画書情報加算	理学療法、作業療法及び言語聴覚 療法に係る加算	褥瘡マネジメント加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	褥瘡対策指導管理(Ⅱ)	排せつ支援加算(Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)	自立支援促進加算	かかりつけ医連携薬剤調整加算 (Ⅱ)・(Ⅲ)	薬剤管理指導	栄養マネジメント強化加算	口腔衛生管理加算(Ⅱ)
介護老人福祉施設	○	○	○			○		○	○			○	○
地域密着型老人福祉施設 入所者生活介護	○	○	○			○		○	○			○	○
介護老人保健施設	○			○		○		○	○	○		○	○
介護医療院	○				○		○	○	○		○	○	○

## 2 対象サービス及び適用となる加算②（通所・居住系）

LIFEの活用等が要件として含まれる加算（通所・居住）

	科学的介護推進 体制加算	個別機能訓練加 算(Ⅱ)	ADL維持等加 算(Ⅰ)・(Ⅱ)	リハビリテー ションマネジメ ント加算(A) □・(B)□	褥瘡マネジメン ト加算(Ⅰ)・(Ⅱ)	排せつ支援加算 (Ⅰ)・(Ⅱ)・(Ⅲ)	栄養アセスメン ト加算	口腔機能向上加 算(Ⅱ)
通所介護	○	○	○				○	○
地域密着型通所介護	○	○	○				○	○
認知症対応型通所介護(予防含む)	○	○	○*				○	○
特定施設入居者生活介護(予防含む)	○	○	○*					
地域密着型特定施設入居者生活介護	○	○	○					
認知症対応型共同生活介護(予防を含む)	○							
小規模多機能型居宅介護(予防含む)	○							
看護小規模多機能型居宅介護	○				○	○	○	○
通所リハビリテーション(予防含む)	○			○*			○	○
訪問リハビリテーション				○				

※ 予防を除く

## 3 LIFEによるデータ提出の方法と頻度

### データ提出の方法

- 各加算に応じて、個別計画書・様式等の必要項目の情報をシステム入力する。
- データの登録は以下の2つの方法がある。
  - ①LIFEとデータ連携が可能な介護記録ソフトを導入している場合
    - ・ 介護記録ソフト等で様式等を作成する際に入力したデータをCSVファイル形式で出力し、LIFEへの取り込みを行う。
    - ・ 介護記録ソフトがLIFEのフォーマットでのCSVファイル出力に対応している必要がある。
  - ②紙で運用している場合・介護記録ソフトがLIFE未対応の場合
    - ・ LIFEの画面から手入力を行う。

### データ提出の頻度

- LIFEへデータ提出を行う頻度は、加算毎に定められている。  
概ね3ヶ月もしくは6ヶ月に一度
- 各加算におけるLIFEへの情報提出の頻度と項目の詳細  
「科学的介護情報システム（LIFE）関連加算に関する基本的な考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について」（令和3年3月16日老老発0316第4号）において示されている。



## 4 LIFEに期待されるもの

介護施設・事業所がLIFEという仕組み（ツール）を活用してPDCAサイクルを回しながら、ケアの質の向上に向けた取組を継続していくことを通して、科学的根拠に基づく質の高いケアを提供するとともに、利用者の個別のニーズや希望をふまえてケアを提供できるようになることが期待される。

### LIFEを活用したケアの質の向上に向けた取組

数値による客観的な  
利用者の状態の評価

デジタル化やICT利活用による  
評価結果等のデータの利活用

多職種連携による  
利用者のケアの評価・改善

蓄積データに基づく研究成果の  
創出を通じたケアの標準化

科学的根拠に基づく質の高いケア



### 利用者の個別のニーズや希望

~ができるようになり  
たい



〇〇は希望する  
●●は希望しない

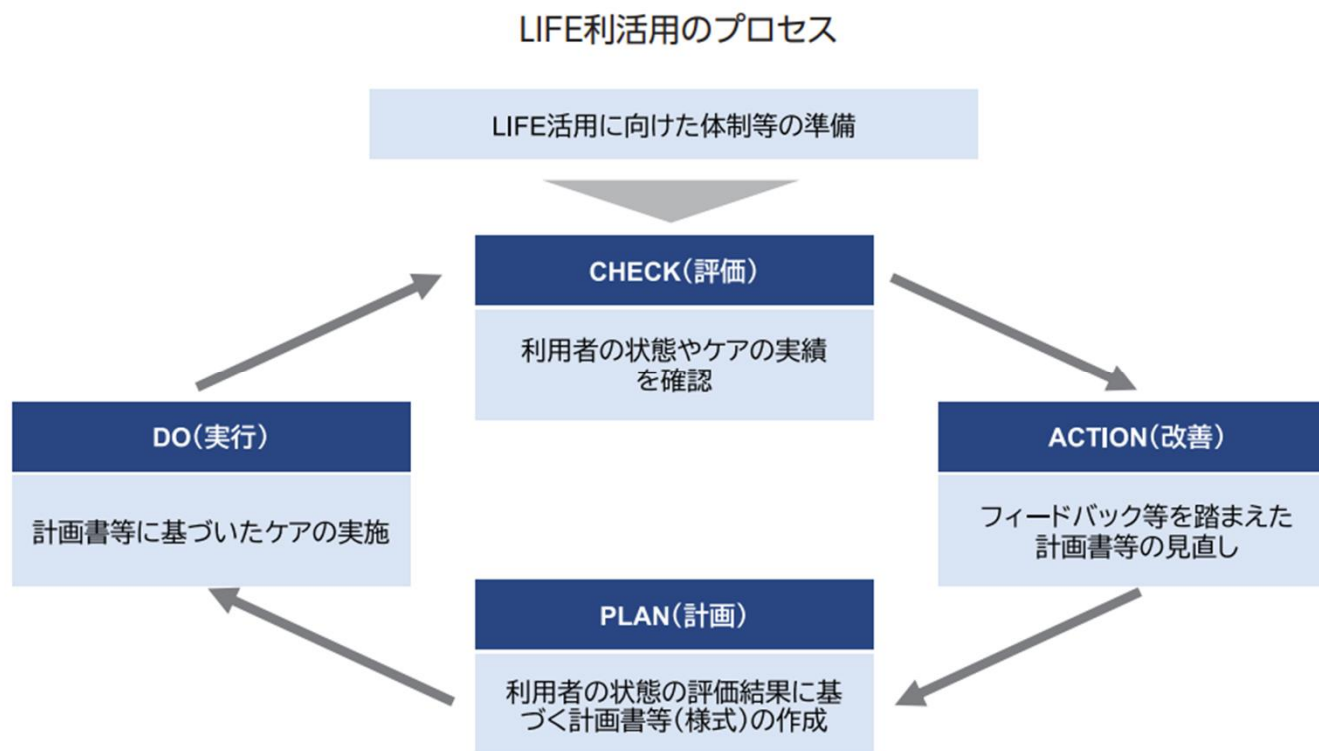


利用者のニーズや希望をふまえた個別ケア

## 5 PDCAサイクル①

### ①介護施設・事業所の状況の把握を行う場合の観点

まず、LIFE活用に向けた体制等の準備を実施し、その後PDCAサイクルのC、現状の評価から始まり、改善、計画、実行のサイクルを回す流れとなる。





## 5 PDCAサイクル②

### ②CHECK(評価)

- 利用者の状態やケアの実績は、加算毎に評価を行う項目や頻度が定められている。
- 具体的な項目や頻度については、下表の「参考資料」に記載の資料に記載されている。

観点	実践のポイント	参照資料(例)
評価の実施	<ul style="list-style-type: none"><li>算定要件として定められている頻度で、評価・記録を行う</li></ul>	<a href="#">科学的介護情報システム(LIFE)関連加算に関する基本的考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について</a> <a href="#">LIFEの入力方法に関するQ&amp;A</a>

## 5 PDCAサイクル③

### ③ACTION(ケアの見直し)

- LIFEの活用等が要件に含まれる加算の算定に当たっては、LIFEへデータを提出するだけでなく、提出したデータやフィードバック情報を、ケアの見直しに活用することが求められている。
- フィードバック情報の解釈にあたり、一般的なデータの見方として、「他施設・事業所との比較」と「時系列推移の確認」がある。

#### 【他施設・事業所との比較】

- 全国平均値と自施設・事業所との比較により、傾向に差異がある項目に着目して、その要因を考察することで改善が必要な事項に気づくきっかけになる。
  - ・ 全国平均値との差異は、あくまでも自施設・事業所の特徴に気づくきっかけ。
  - ・ 全国平均値と同程度であることが望ましい / 全国平均値へ近づけていく必要がある、ということではない点に留意が必要。
  - ・ 各指標の数値には、各介護施設・事業所で実施された取組や利用者毎の状況（例えば、入院があった、など）等の様々な要因が複合的に影響するため、指標値がケアの良し悪しを直接反映するものではないことにも、注意が必要。

## 5 PDCAサイクル④

### 他施設・事業所との比較

Step1	全国平均値と 自施設・事業所の 比較	<input type="checkbox"/> 傾向に違いのある項目はどこか
Step2	傾向に違いが 生じている要因の 考察	<input type="checkbox"/> 利用者の状態像に特徴がある？ (地域の中で特に重度の利用者が入所している、など) <input type="checkbox"/> 施設・事業所としての取組に特徴がある？ <input type="checkbox"/> 利用者の状態評価の方法に特徴がある？
Step3	要因を踏まえた 対応策の検討	<input type="checkbox"/> 自施設・事業所の利用者の特徴や、本人の意向と照らし合わせて、対応が必要な要因はあるか？ <input type="checkbox"/> 対応が必要な場合、改善に向けてどのような対応を行うか

## 5 PDCAサイクル⑤

### 【時系列推移の確認】

○過去からのデータの推移を確認により、変化の傾向に着目して、その要因を考察することで、改善が必要な事項に気づくきっかけとなる。

- ・変化が生じていること、あるいは生じていないこと、それ自体は、ケアの良し悪しを表すものではない。
- ・利用者本人の意向や、実施してきた取組の内容と照らし合わせて、変化の傾向が合致しているかを確認し、合致していない場合には、対応策を検討することが必要となる。
- ・フィードバック情報だけでなく、それぞれの利用者のケアの目的や意向、実施している取組の内容等、各介護施設・事業所で管理しているその他の情報も踏まえて解釈し、ケアの見直しへつなげていくことが重要。

## 5 PDCAサイクル⑥

### 時系列推移の確認

Step1	時系列推移の確認	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 変化の生じている項目はあるか？</li><li>□ 状態が悪化している項目はあるか？</li><li>□ 状態の改善を目指して取組を実施した項目について、どのような変化が生じているか？</li></ul>
Step2	変化が生じている要因の考察	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 利用者の状態に変化が生じた要因は？<ul style="list-style-type: none"><li>－入院等、状態が大きく変化する要因があった？</li><li>－状態の改善を目指して実施した取組について、効果の状況は？</li></ul></li></ul>
Step3	要因を踏まえた対応策の検討	<ul style="list-style-type: none"><li>□ 自施設・事業所の利用者の特徴や、本人の意向と照らし合わせて、対応が必要な要因はあるか？</li><li>□ 対応が必要な場合、改善に向けてどのような対応を行うか</li></ul>

## 5 PDCAサイクル⑦

### ④PLAN(計画書等の作成)

○ これまで紹介したような相対比較や時系列比較ができるためには、全国の各介護施設・事業所において、統一された定義に基づいて評価及び記録が実施されることが重要。

○ 介護施設・事業所では、利用者の評価に携わる職員が同じ定義に基づいて利用者の状態の評価が実施できるように、周知・浸透に向けた教育・研修等を実施することが望ましいと考えられる。

観点	実践のポイント	参照資料(例)
様式例に基づく評価・計画書の作成	<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者毎に、算定している各加算について、厚生労働省より示されている様式例に基づいて評価・計画書の作成を行う</li> </ul>	<a href="#">介護報酬改定に関する通知等</a>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>やむを得ない場合を除き、必須として定められている全ての項目について、評価・記録を行う</li> </ul>	<a href="#">科学的介護情報システム(LIFE)関連加算に関する基本的考え方並びに事務処理手順及び様式例の提示について</a>  <a href="#">LIFEの入力方法に関するQ&amp;A</a>
評価基準の統一	<ul style="list-style-type: none"> <li>評価方法について、職員に対する周知・浸透のための取組を行う</li> </ul>	<a href="#">ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム(LIFE)利活用の手引き</a>

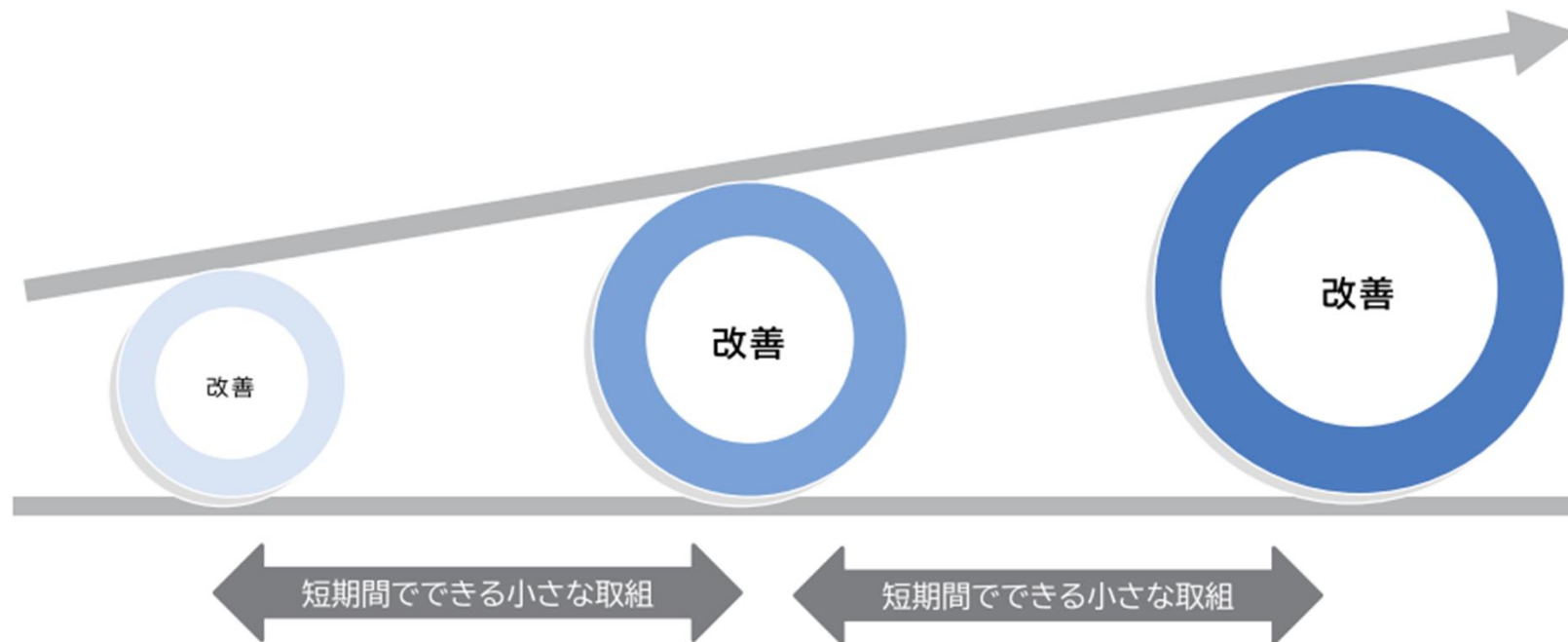


## 5 PDCAサイクル⑧

### ⑤DO(ケアの実施)

○ ケアの実施は、PLAN で作成した計画書等に基づいてケアを実施し、利用者の状態に変化があった場合等においては、必要に応じて適宜計画の見直しを行う。

○ 大きな改善は、小さな改善の積み重ねにより生まれる。まずは取り組んでみて生じた変化を確認することで、小さな取組が段々と大きな改善へつながっていくことを意識する。



## 6 取組事例

以下の事例を参考に、各施設・事業所において、LIFEの利活用によるケアの質の向上に向けた取組について、検討・実践するようお願いいたします。

プロセス	NO	サービス	タイトル
LIFEの活用に向けた体制等の準備	事例01	介護老人保健施設	施設内でLIFEの目的等を共有、LIFE活用の中心メンバーを決定
	事例02	介護老人福祉施設	ワーキングチームを立ち上げ、定期的にLIFEに関する内容を検討
	事例03	介護老人保健施設	業務を整理するチームと将来像を議論するチームを設置
	事例04	介護老人保健施設	補助金を活用し、LIFE導入のためのICT環境を整備
	事例05	介護老人保健施設	LIFEに関する疑問・質問に丁寧に対応、職員のモチベーションを維持
利用者の状態等の評価	事例06	介護老人保健施設	アセスメントのマニュアル作成を通じた若手職員の教育研修
	事例07	介護老人保健施設	これまでに使用していない評価項目を中心に、研修とOJTを実施
	事例08	介護老人福祉施設	職員への研修と定期的な情報共有
	事例09	通所介護	多職種間でケアに対する意識を統一
フィードバック等を活用した評価・改善	事例10	通所リハビリテーション	リハビリテーション会議でのLIFE情報等の活用
	事例11	介護老人保健施設	LIFEデータを活用した自施設の取組評価
	事例12	通所リハビリテーション	フィードバック情報の職員間での共有
	事例13	介護老人保健施設	カンファレンスでの多職種連携
	事例14	介護老人保健施設	独自のフィードバック票作成
	事例15	介護老人福祉施設	フィードバック情報を活用し、ケアの見直しを実施

※詳しくは厚生労働省HPに掲載されている「ケアの質の向上に向けた科学的介護情報システム（LIFE）の利活用に関する事例集をご確認ください。

URL [https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198094\\_00037.html](https://www.mhlw.go.jp/stf/shingi2/0000198094_00037.html)

## 7 参考となる資料

※情報は随時更新されています。最新情報は各ホームページを参照してください。

目的	資料の名称	閲覧方法
LIFEの概要が知りたい	科学的介護情報システム(LIFE)について	厚生労働省 「科学的介護」のHP
厚生労働省の事務連絡が知りたい	各種事務連絡等	厚生労働省 「科学的介護」のHP
LIFEへデータ提出を行う情報について留意すべき事項が知りたい	LIFEの入力方法に関する Q&A	LIFEのHP >操作マニュアル
LIFE利活用の概要が知りたい	ケアの質の向上に向けた科学的介護情報 システム(LIFE)利活用の手引き	LIFEのHP >操作マニュアル
データ提出を行う情報の範囲が知りたい		
データ提出を行う情報の評価方法が 知りたい		
ADL (Barthel Index:BI)の測定方法を 動画で確認したい	BIの測定についての動画	厚生労働省 「科学的介護」のHP
LIFEのセットアップ方法が知りたい	導入手順書	LIFEのHP >操作マニュアル
LIFEの操作方法が知りたい	操作説明書(本編)	LIFEのHP >操作マニュアル

【厚生労働省「科学的介護」のホームページ】